

津地区の景況調査

令和3年下期実績と令和4年上期見通し
(令和4年1月調査)

津商工会議所中小企業相談所

も く じ

I	調査概要	1
II	調査結果	4
1	現状と来期の見通し	4
2	売上状況と来期の見通し	6
3	利益状況	8
4	販売条件と仕入条件	9
5	設備投資	1 1
6	資金繰りの動向	1 1
7	借入の動向	1 3
8	借入予定、借入希望先、借入資金の使途予定	1 3
9	経営上の問題点	1 5
■	景況調査票	

I 調査概要

- 1 調査目的 本調査は、津地区企業の景況を調査し、その動向を分析して地域事業所の経営に役立つ資料を提供することを目的とする。
- 2 調査対象 津商工会議所会員でFAX登録されている企業1,941社を対象に調査を実施した。
- 3 調査方法 FAX送付によるアンケート方式
- 4 調査期間 令和4年1月4日～同月14日
- 5 調査対象期間 令和3年下期（7月～12月）実績と令和4年上期（1月～6月）見通し
- 6 回収集計数 回収集計数企業 281社（回収集計率 14.48%）
うち小規模企業 150社
- 7 調査機関 津商工会議所中小企業相談所

DI = Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) とは

本文のDIとは、景気動向を示す指標で、調査時点における企業の経済行動（強気や弱気など）を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているもので、とくに言及のない限り、前期に比べて「増加」「好転」したとする企業の割合から「減少」「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値である。

BSI = (Business Survey Index (ビジネス・サーベイ・インデックス) とは

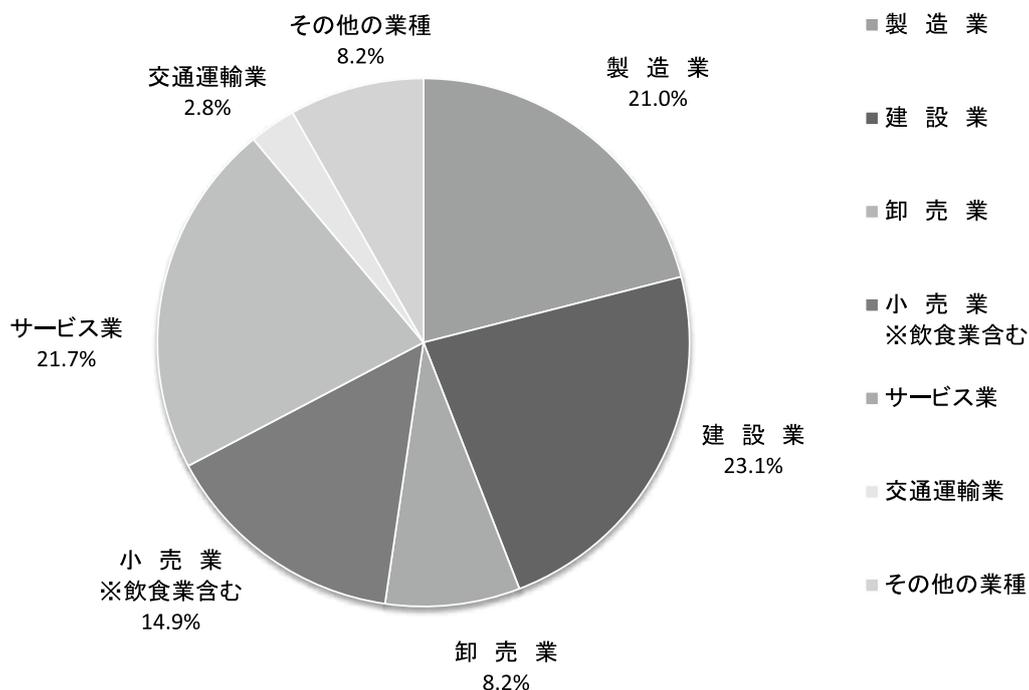
本文のBSIとは、景気動向を示す指標で、調査時点における企業の経済行動（強気や弱気など）を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているもので、とくに言及のない限り、前期に比べて「増加」「好転」したとする企業の割合から「減少」「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値を2で割った値である。

(注) 図表中の数値表示について

図表中の数値については小数点以下第2桁で四捨五入をしているため、合計が100.0にならない場合がある。

回答状況

業種別回答比率



業種別従業員規模

(単位：上段－企業数・下段－%)

	0～5人	6～20人	21～50人	51～100人	101人以上	無記入	計
全産業	101 35.9	79 28.1	44 15.7	24 8.5	33 11.7	0 0.0	281
製造業	10 16.9	18 30.5	9 15.3	9 15.3	13 22.0	0 0.0	59
建設業	32 49.2	20 30.8	10 15.4	0 0.0	3 4.6	0 0.0	65
卸売業	8 34.8	4 17.4	8 34.8	2 8.7	1 4.3	0 0.0	23
小売業 ※飲食業含む	18 42.9	9 21.4	6 14.3	2 4.8	7 16.7	0 0.0	42
サービス業	23 37.7	17 27.9	8 13.1	7 11.5	6 9.8	0 0.0	61
交通運輸業	0 0.0	3 37.5	2 25.0	2 25.0	1 12.5	0 0.0	8
その他の業種	10 43.5	8 34.8	1 4.3	2 8.7	2 8.7	0 0.0	23
無記入	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0

全 産 業 D I

	業況判断	売 上	利益状況	販売条件	仕入条件	資金繰り
令和2年7月～12月 実績	▲ 58.3	▲ 55.5	▲ 56.6	▲ 29.6	▲ 27.0	▲ 20.9
令和3年1月～6月 実績	▲ 26.6	▲ 20.6	▲ 25.7	▲ 18.2	▲ 26.0	▲ 11.0
令和3年7月～12月 実績	▲ 19.3	▲ 22.9	▲ 28.1	▲ 23.1	▲ 39.8	▲ 10.7
令和4年1月～6月 見通し	▲ 14.3	▲ 16.3				▲ 11.7

業 種 別 D I (令和3年7月～12月期)

	業況判断	売 上	利益状況	販売条件	仕入条件	資金繰り
製 造 業	▲ 1.7	▲ 5.1	▲ 3.4	▲ 15.2	▲ 57.6	▲ 10.2
建 設 業	▲ 12.3	▲ 27.6	▲ 30.9	▲ 24.7	▲ 38.5	▲ 3.1
卸 売 業	▲ 30.4	▲ 30.5	▲ 30.4	▲ 17.4	▲ 34.7	▲ 17.4
小 売 業 ※飲食業含む	▲ 52.3	▲ 45.2	▲ 52.4	▲ 33.4	▲ 40.5	▲ 14.2
サービス業	▲ 21.3	▲ 19.8	▲ 32.8	▲ 29.6	▲ 32.8	▲ 14.8

Ⅱ 調査結果

1 現状と来期の見通し（表－1、図－1・2参照）

(1) 現状

全産業の今期業況判断DIは▲19.3となり、前期▲26.6と比べ、7.3ポイントの改善となった。前期（31.7ポイント改善）ほどのマイナス幅の縮小はみられなかったものの、引続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受ける中で、マイナス幅が縮小し改善となった。

業種別で見ると、製造業（▲1.7）、建設業（▲12.3）、卸売業（▲30.4）で改善となり、サービス業（▲21.3）でほぼ横ばい、小売業（▲52.3）で悪化となり、特に製造業で30.5ポイントの改善に対し、小売業で31.5ポイントの悪化と業種により変化が顕著に表れた。小規模企業の全産業においては▲28.6となり、前期▲40.4と比べ11.8ポイントの改善となった。業種別で見ると製造業（▲24.9）、建設業（▲7.6）、サービス業（▲30.4）で改善となり、卸売業（▲62.5）、小売業（▲66.6）で悪化となっている。

(2) 来期の見通し

全産業の見通しDIは▲14.3となり、今期業況判断DI▲19.3より5.0ポイント改善する見通しを示している。業種別で見ると製造業、建設業、卸売業、小売業で改善、サービス業のみ悪化の見通しとなった。また、小規模企業の全産業においては▲21.3となり、今期業況判断DI▲28.6より7.3ポイント改善する見通しを示している。業種別では、製造業、卸売業、小売業で改善、建設業でほぼ横ばい、サービス業のみ悪化の見通しとなっている。

表－1 経営の現状と来期の見通し

	業況判断DI			今期と前期との比較 (③－②)	見通しDI	今期と来期の見通しとの比較 (④－③)
	前々期 ①令和2年 7月～12月	前期 ③令和3年 1月～6月	今期 ③令和3年 7月～12月		来期 ④令和4年 1月～6月	
全産業	▲ 58.3	▲ 26.6	▲ 19.3	7.3	▲ 14.3	5.0
	▲ 69.8	▲ 40.4	▲ 28.6	11.8	▲ 21.3	7.3
製造業	▲ 68.4	▲ 32.2	▲ 1.7	30.5	0.0	1.7
	▲ 86.6	▲ 64.3	▲ 24.9	39.4	▲ 17.8	7.1
建設業	▲ 46.6	▲ 31.0	▲ 12.3	18.7	▲ 10.9	1.4
	▲ 52.8	▲ 32.8	▲ 7.6	25.2	▲ 7.7	▲ 0.1
卸売業	▲ 56.3	▲ 32.4	▲ 30.4	2.0	▲ 13.1	17.3
	▲ 55.5	▲ 53.9	▲ 62.5	▲ 8.6	▲ 25.0	37.5
小売業 ※飲食業含む	▲ 69.5	▲ 20.8	▲ 52.3	▲ 31.5	▲ 33.3	19.0
	▲ 85.7	▲ 28.6	▲ 66.6	▲ 38.0	▲ 44.4	22.2
サービス業	▲ 54.3	▲ 21.9	▲ 21.3	0.6	▲ 24.6	▲ 3.3
	▲ 75.0	▲ 40.7	▲ 30.4	10.3	▲ 39.1	▲ 8.7

DI＝好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

▲はマイナス表示

※下段の値は小規模企業

	業況判断			来期の見通し
	前々期 令和2年7月～12月	前期 令和3年1月～6月	今期 令和3年7月～12月	来期 令和4年1月～6月
全産業				
製造業				
建設業				
卸売業				
小売業 ※飲食業含む				
サービス業				

D I = 好転（良い、やや良い）の割合 - 悪化（やや悪い、悪い）の割合 ▲はマイナス表示

※表内の景気天気図は各期のD I 値により表示

快晴 晴 くもり時々晴 くもり くもり時々雨 雨



D I 値

50以上100 25以上 0 以上 ▲25以上 ▲50以上 ▲100
50未満 25未満 0 未満 ▲25未満 ▲50未満

図-1 津地区の業況判断の推移と来期の見通し ・棒グラフは構成比（％）
・折線グラフはBSI 値

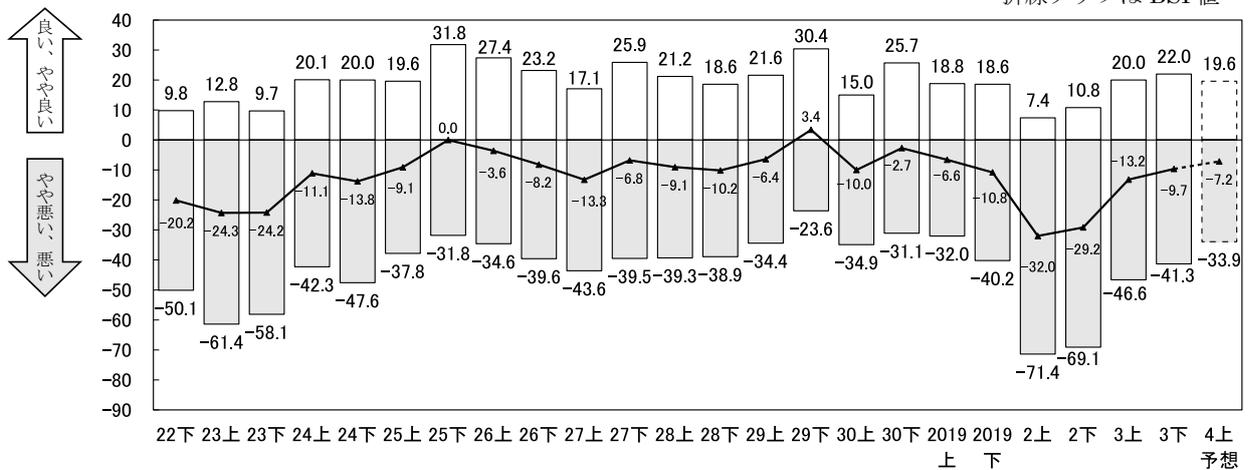
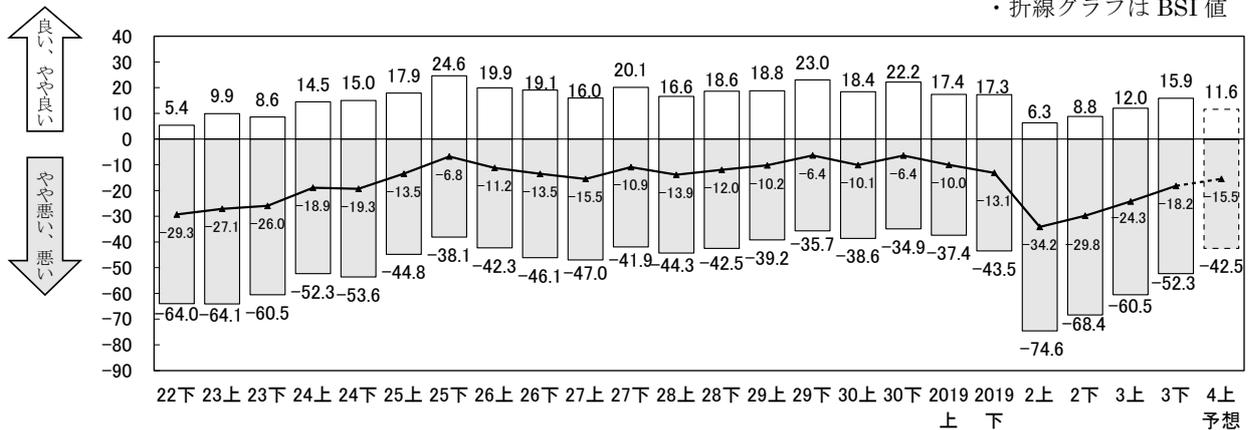


図-2 三重県内の業況判断の推移と来期の見通し ・棒グラフは構成比（％）
・折線グラフはBSI 値



2 売上状況と来期の見通し（表－2、図－3・4参照）

(1) 売上状況

全産業の売上D Iは、今期▲22.9となり前期▲20.6と比べ、2.3ポイントの悪化となった。小規模企業では、今期▲39.4と前期▲39.8と比べ、ほぼ横ばいとなった。

業種別では、製造業、建設業で改善、サービス業でほぼ横ばい、卸売業、小売業で悪化となり、特に小売業では41.1ポイントと大幅な悪化となった。小規模企業では、製造業、建設業、サービス業で改善、卸売業、小売業で悪化となり、特に卸売業で51.9ポイント、小売業で43.6ポイントと大幅な悪化となっている。

(2) 来期の見通し

全産業の来期の見通しD Iは▲16.3と、今期の売上D I ▲22.9と比較し、6.6ポイントの改善の見通しを示している。小規模企業でも、16.7ポイントの改善の見通しを示している。

業種別では、製造業、建設業、卸売業で改善、小売業でほぼ横ばい、サービス業で悪化の見通しとなり、特に製造業ではプラスに転じる見通しとなった。小規模企業では、全ての業種で改善の見通しとなっている。

表－2 売上状況と来期の見通し

	売上D I			今期と前期との比較 (③－②)	見通しD I	今期と来期の見通しとの比較 (④－③)
	前々期 ①令和2年 7月～12月	前期 ②令和3年 1月～6月	今期 ③令和3年 7月～12月		来期 ④令和4年 1月～6月	
全産業	▲ 55.5	▲ 20.6	▲ 22.9	▲ 2.3	▲ 16.3	6.6
	▲ 66.2	▲ 39.8	▲ 39.4	0.4	▲ 22.7	16.7
製造業	▲ 73.3	▲ 24.1	▲ 5.1	19.0	8.5	13.6
	▲ 86.7	▲ 67.9	▲ 28.6	39.3	▲ 3.6	25.0
建設業	▲ 41.0	▲ 31.0	▲ 27.6	3.4	▲ 15.4	12.2
	▲ 47.3	▲ 35.9	▲ 23.2	12.7	▲ 9.7	13.5
卸売業	▲ 53.1	▲ 24.3	▲ 30.5	▲ 6.2	▲ 17.4	13.1
	▲ 55.5	▲ 23.1	▲ 75.0	▲ 51.9	▲ 25.0	50.0
小売業 ※飲食業含む	▲ 61.2	▲ 4.1	▲ 45.2	▲ 41.1	▲ 45.2	0.0
	▲ 80.9	▲ 28.5	▲ 72.1	▲ 43.6	▲ 61.1	11.0
サービス業	▲ 49.9	▲ 20.5	▲ 19.8	0.7	▲ 21.3	▲ 1.5
	▲ 71.4	▲ 55.5	▲ 43.5	12.0	▲ 34.8	8.7

DI＝好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

▲はマイナス表示

※下段の値は小規模企業

	売上状況			見通し
	前々期 令和2年7月～12月	前期 令和3年1月～6月	今期 令和3年7月～12月	来期 令和4年1月～6月
全産業				
製造業				
建設業				
卸売業				
小売業 ※飲食業含む				
サービス業				

D I = 好転（良い、やや良い）の割合 - 悪化（やや悪い、悪い）の割合 ▲はマイナス表示

※表内の景気天気図は各期のD I値により表示
快晴 晴 くもり時々晴 くもり くもり時々雨 雨

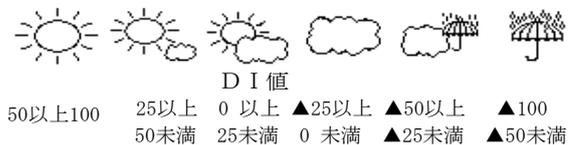


図-3 津地区の売上状況の推移と来期の見通し ・棒グラフは構成比(%)
・折線グラフはBSI値

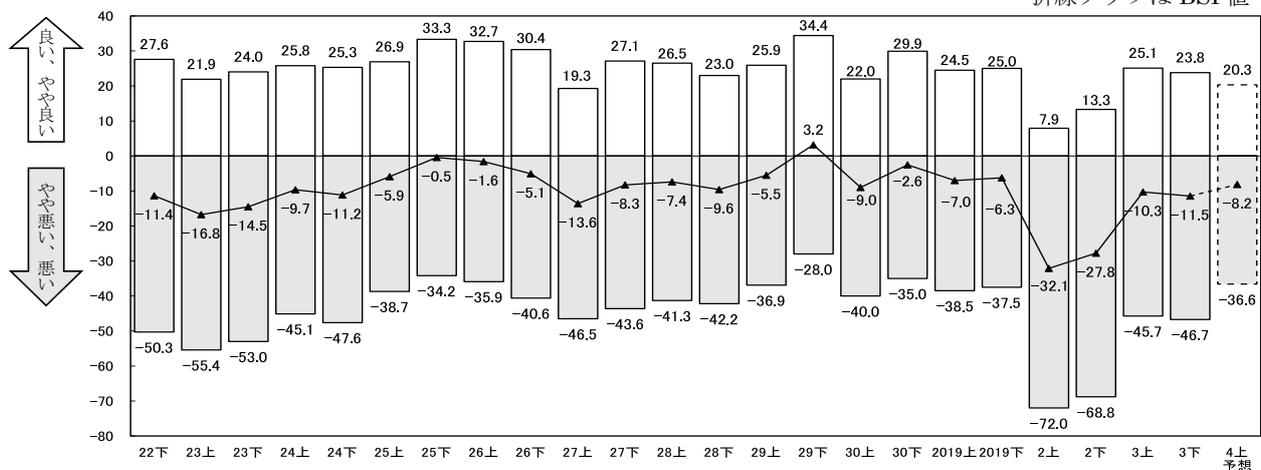
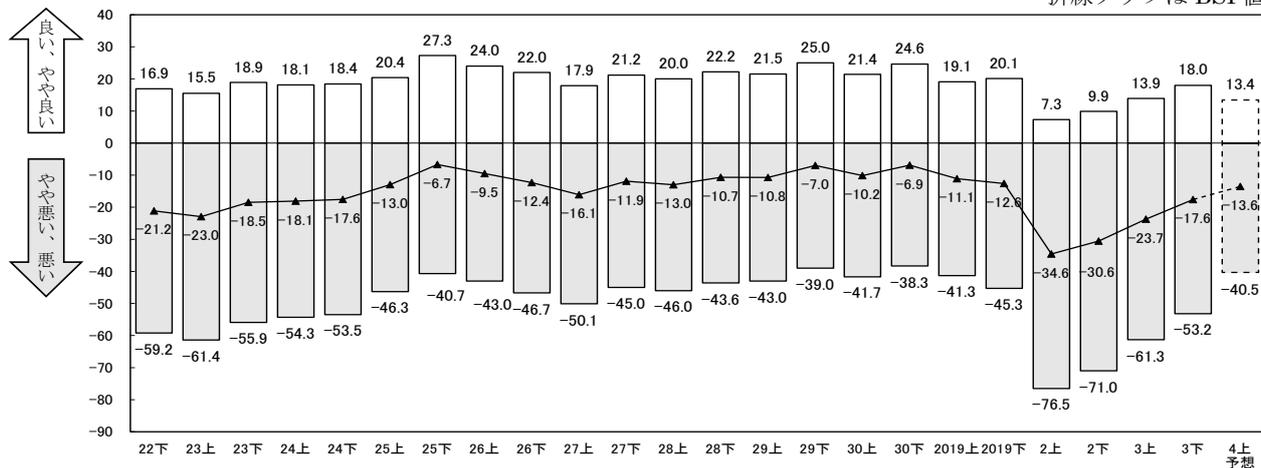


図-4 三重県内の売上状況の推移と来期の見通し ・棒グラフは構成比(%)
・折線グラフはBSI値



3 利益状況（表－3、図－5参照）

全産業の利益DIは、今期▲28.1と前期▲25.7に比べ、2.4ポイントの悪化となった。小規模企業では、今期▲40.7と前期▲43.3と比べ、2.6ポイントの改善となった。

業種別では、製造業、建設業で改善、卸売業、小売業、サービス業で悪化となり、特に製造業で22.3ポイントの改善に対し、小売業で31.6ポイントの悪化となった。小規模企業では製造業、建設業、サービス業で改善、卸売業、小売業で悪化となっている。

表－3 利益状況

	利益DI			今期と前期との比較 (③－②)
	前々期 ①令和2年 7月～12月	前期 ②令和3年 1月～6月	今期 ③令和3年 7月～12月	
全産業	▲ 56.6	▲ 25.7	▲ 28.1	▲ 2.4
	▲ 67.3	▲ 43.3	▲ 40.7	2.6
製造業	▲ 63.3	▲ 25.7	▲ 3.4	22.3
	▲ 80.0	▲ 60.7	▲ 28.6	32.1
建設業	▲ 48.0	▲ 34.5	▲ 30.9	3.6
	▲ 52.6	▲ 37.5	▲ 28.8	8.7
卸売業	▲ 56.3	▲ 21.6	▲ 30.4	▲ 8.8
	▲ 77.7	▲ 46.2	▲ 62.5	▲ 16.3
小売業 ※飲食業含む	▲ 59.2	▲ 20.8	▲ 52.4	▲ 31.6
	▲ 81.0	▲ 38.0	▲ 72.2	▲ 34.2
サービス業	▲ 54.3	▲ 26.1	▲ 32.8	▲ 6.7
	▲ 67.9	▲ 55.5	▲ 43.4	12.1

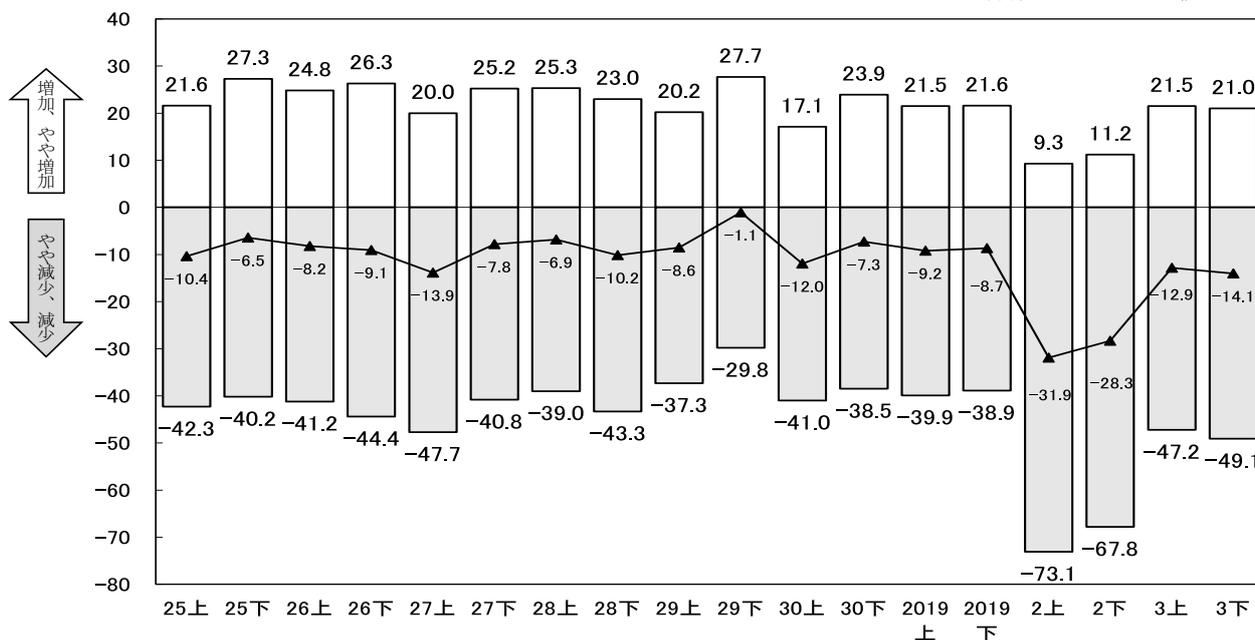
DI＝好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

▲はマイナス表示

※下段の値は小規模企業

図－5 利益状況の推移

- ・棒グラフは構成比（％）
- ・折線グラフはBSI値



4 販売条件と仕入条件

(1) 販売条件（表－4、図－6参照）

全産業の販売DIは、今期▲23.1と前期▲18.2に比べ、4.9ポイントの悪化となった。また、小規模企業では、今期▲25.3と前期▲25.7と比べ、ほぼ横ばいとなった。

業種別では、製造業、建設業で改善、卸売業、小売業、サービス業で悪化となった。小規模企業でも、製造業、建設業で改善、卸売業、小売業、サービス業で悪化となっている。

表－4 販売条件

	販売条件DI			今期と前期との比較 (③－②)
	前々期 ①令和2年 7月～12月	前期 ②令和3年 1月～6月	今期 ③令和3年 7月～12月	
全産業	▲ 29.6 ▲ 38.8	▲ 18.2 ▲ 25.7	▲ 23.1 ▲ 25.3	▲ 4.9 0.4
製造業	▲ 26.6 ▲ 46.6	▲ 16.2 ▲ 28.5	▲ 15.2 ▲ 25.0	1.0 3.5
建設業	▲ 31.5 ▲ 34.5	▲ 29.7 ▲ 35.9	▲ 24.7 ▲ 21.2	5.0 14.7
卸売業	▲ 12.5 ▲ 22.2	▲ 8.1 ▲ 7.7	▲ 17.4 ▲ 12.5	▲ 9.3 ▲ 4.8
小売業 ※飲食業含む	▲ 40.8 ▲ 52.3	▲ 18.8 ▲ 14.3	▲ 33.4 ▲ 33.4	▲ 14.6 ▲ 19.1
サービス業	▲ 27.2 ▲ 32.2	▲ 13.7 ▲ 22.2	▲ 29.6 ▲ 39.1	▲ 15.9 ▲ 16.9

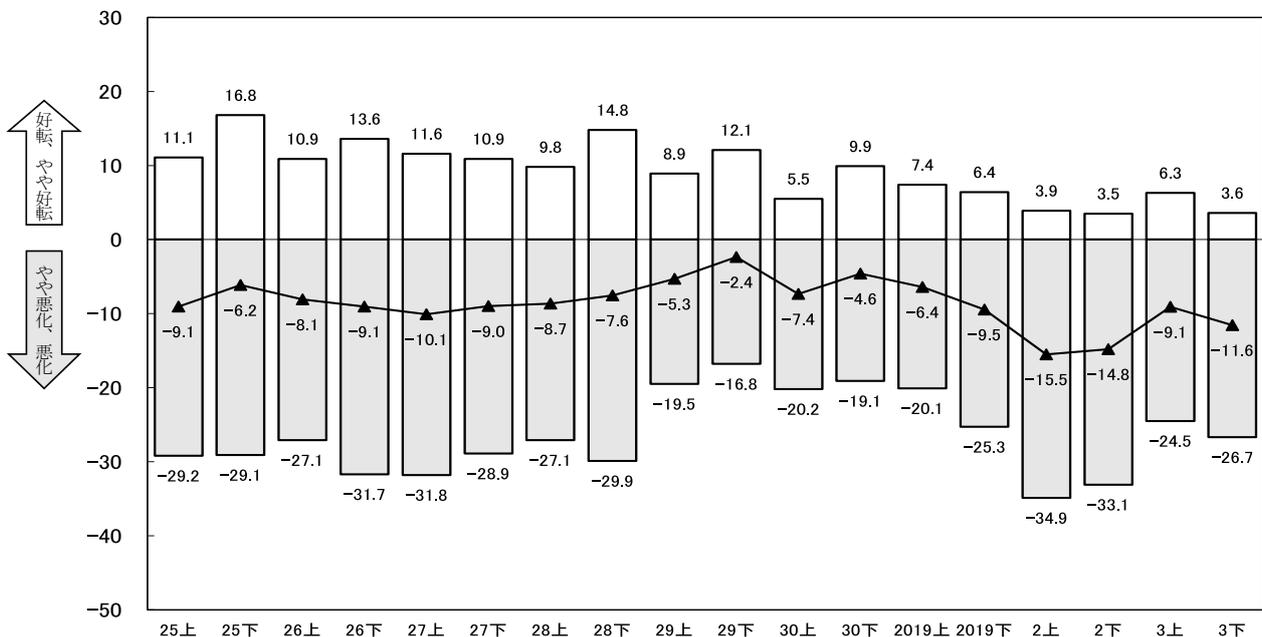
DI＝好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

▲はマイナス表示

※下段の値は小規模企業

図－6 販売条件の推移

- ・棒グラフは構成比（％）
- ・折線グラフはBSI値



(2) 仕入条件（表－５、図－７参照）

全産業の仕入条件D Iは、今期▲39.8 と前期▲26.0 に比べ、13.8 ポイントの悪化となった。業種別では、全ての業種で悪化となり、小規模企業では、卸売業のみ改善となり、それ以外の業種で悪化となっている。

表－５ 仕入条件

	仕入条件D I			今期と前期との比較 (③－②)
	前々期 ①令和2年 7月～12月	前期 ②令和3年 1月～6月	今期 ③令和3年 7月～12月	
全産業	▲ 27.0	▲ 26.0	▲ 39.8	▲ 13.8
	▲ 35.2	▲ 29.2	▲ 38.6	▲ 9.4
製造業	▲ 28.3	▲ 35.5	▲ 57.6	▲ 22.1
	▲ 56.7	▲ 42.8	▲ 60.7	▲ 17.9
建設業	▲ 20.5	▲ 31.0	▲ 38.5	▲ 7.5
	▲ 23.6	▲ 32.8	▲ 36.5	▲ 3.7
卸売業	▲ 22.0	▲ 21.6	▲ 34.7	▲ 13.1
	▲ 33.3	▲ 30.8	▲ 25.0	5.8
小売業 ※飲食業含む	▲ 28.5	▲ 24.9	▲ 40.5	▲ 15.6
	▲ 28.5	▲ 19.0	▲ 33.3	▲ 14.3
サービス業	▲ 28.6	▲ 17.8	▲ 32.8	▲ 15.0
	▲ 39.3	▲ 22.2	▲ 39.1	▲ 16.9

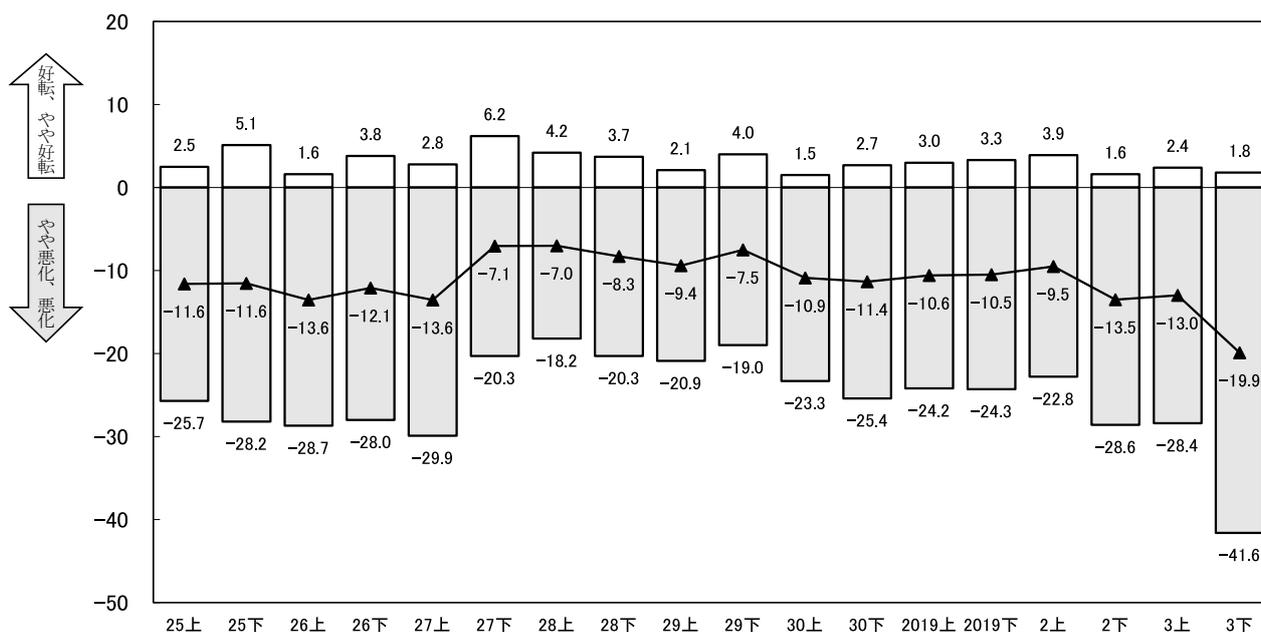
DI=好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

▲はマイナス表示

※下段の値は小規模企業

図－７ 仕入条件の推移

- ・棒グラフは構成比（％）
- ・折線グラフはBSI値



5 設備投資（表－6 参照）

(1) 今期の動向

今期に設備投資を実施した企業は、281 企業中 85 企業で全体の 30.2%と前期の 335 企業中 79 企業・23.6%と比べ、6.6 ポイント増加の結果となった。

業種別では、製造業、建設業、サービス業で増加となり、卸売業、小売業で減少となった。小規模企業では、建設業、サービス業で増加となり、製造業、卸売業、小売業で減少となっている。

(2) 来期の計画

全産業中、来期に設備投資を予定している企業は、281 企業中 74 企業で 26.3%と今期実績値 85 企業・30.2%に比べ、3.9 ポイント減少の見通しとなった。

業種別では、卸売業、サービス業で増加、製造業、建設業、小売業で減少の見通しとなっている。

表－6 設備投資実施企業割合

	設備投資実施企業割合			今期と前期との比較 (③－②)	設備投資の予定 来期 ④令和 4 年 1 月～6 月	今期と来期予定との比較 (④－③)
	前々期 ①令和 2 年 7 月～12 月	前期 ②令和 3 年 1 月～6 月	今期 ③令和 3 年 7 月～12 月			
全 産 業	26.4	23.6	30.2	6.6	26.3	▲ 3.9
	15.8	15.8	18.0	2.2	12.0	▲ 6.0
製 造 業	38.3	32.3	49.2	16.9	33.9	▲15.3
	16.7	21.4	17.9	▲ 3.5	10.7	▲ 7.2
建 設 業	20.5	17.9	29.2	11.3	23.1	▲ 6.1
	18.2	14.1	25.0	10.9	17.3	▲ 7.7
卸 売 業	28.1	27.0	21.7	▲ 5.3	26.1	4.4
	0.0	15.4	0.0	▲ 15.4	0.0	0.0
小 売 業 ※飲食業含む	20.4	29.2	21.4	▲ 7.8	19.0	▲ 2.4
	4.8	28.6	11.1	▲ 17.5	0.0	▲ 11.1
サービス業	24.3	17.8	29.5	11.7	34.4	4.9
	21.4	11.1	21.7	10.6	21.7	0.0

▲はマイナス表示

※下段の値は小規模企業

6 資金繰りの動向（表－7、図－8 参照）

(1) 今期の動向

全産業の資金繰り D I は、今期▲10.7と前期▲11.0に比べ、ほぼ横ばいとなった。業種別では、製造業、建設業、小売業で改善、サービス業でほぼ横ばい、卸売業で悪化となった。小規模企業では、製造業、建設業、サービス業で改善、卸売業、小売業で悪化となっている。

(2) 来期の見通し

全産業の見通しDIは、▲11.7と今期の資金繰りDI ▲10.7に比べ、1.0ポイントの悪化の見通しとなった。業種別では建設業、サービス業で改善、製造業、卸売業、小売業で悪化の見通しとなった。小規模企業では、小売業で改善、建設業、サービス業ではほぼ横ばい、製造業、卸売業で悪化見通しとなっている。

表－7 資金繰り

	資金繰りDI			今期と前期との比較 (③－②)	見通しDI	今期と来期の見通しとの比較 (④－③)
	前々期 ①令和2年 7月～12月	前期 ②令和3年 1月～6月	今期 ③令和3年 7月～12月		来期 ④令和4年 1月～6月	
全産業	▲ 20.9	▲ 11.0	▲ 10.7	0.3	▲ 11.7	▲ 1.0
	▲ 25.5	▲ 20.4	▲ 16.8	3.6	▲ 16.0	0.8
製造業	▲ 28.3	▲ 12.9	▲ 10.2	2.7	▲ 11.9	▲ 1.7
	▲ 43.3	▲ 39.3	▲ 17.9	21.4	▲ 21.5	▲ 3.6
建設業	▲ 9.6	▲ 11.9	▲ 3.1	8.8	▲ 1.5	1.6
	▲ 14.6	▲ 18.8	▲ 3.8	15.0	▲ 3.8	0.0
卸売業	▲ 6.3	0.0	▲ 17.4	▲ 17.4	▲ 26.1	▲ 8.7
	▲ 11.1	▲ 7.7	▲ 25.0	▲ 17.3	▲ 37.5	▲ 12.5
小売業 ※飲食業含む	▲ 32.6	▲ 16.6	▲ 14.2	2.4	▲ 19.1	▲ 4.9
	▲ 38.0	▲ 23.7	▲ 33.3	▲ 9.6	▲ 27.8	5.5
サービス業	▲ 21.4	▲ 15.1	▲ 14.8	0.3	▲ 13.1	1.7
	▲ 14.3	▲ 25.9	▲ 21.8	4.1	▲ 21.8	0.0

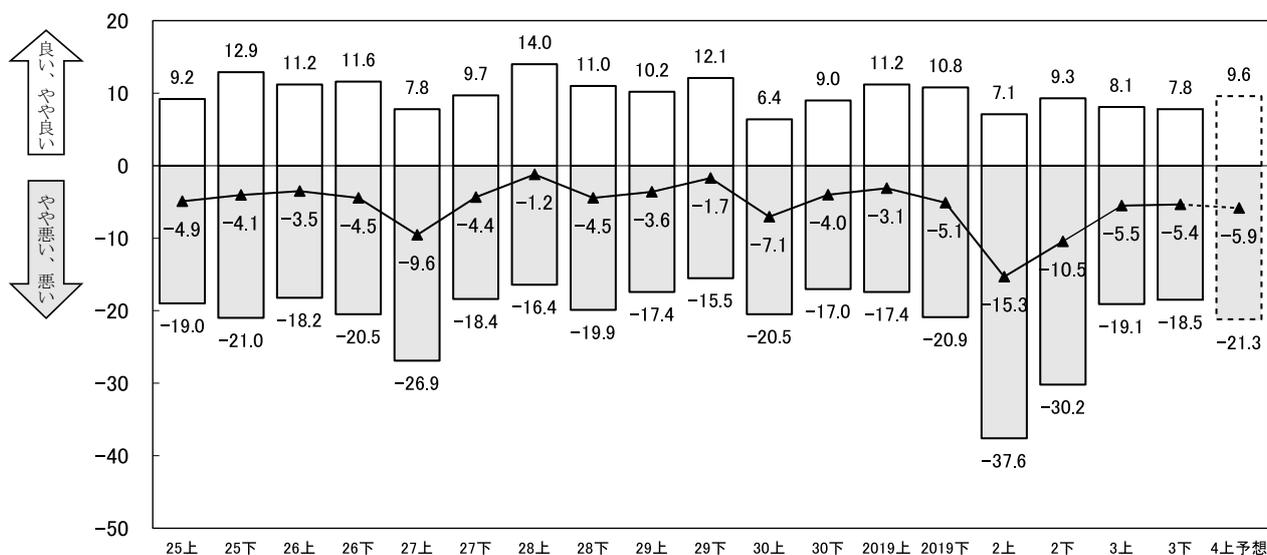
DI=好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

▲はマイナス表示

※下段の値は小規模企業

図－8 資金繰りの動向と来期の見通し

・棒グラフは構成比（％）
・折線グラフはBSI値



7 借入の動向（表－8参照）

全産業の借入難易度DIは、今期 18.4 と前期 14.1 に比べ、4.3 ポイントの改善となった。小規模企業では、14.1 と前期 0.0 と比べ、14.1 ポイントの改善となった。

業種別では、卸売業のみ悪化、それ以外の業種で改善となった。小規模企業では製造業、建設業、小売業で改善、サービス業でほぼ横ばい、卸売業のみ悪化となっている。

表－8 借入の難易度

	借入難易度DI			今期と前期との比較 (③－②)
	前々期 ①令和2年 7月～12月	前期 ②令和3年 1月～6月	今期 ③令和3年 7月～12月	
全産業	21.8	14.1	18.4	4.3
	16.5	0.0	14.1	14.1
製造業	16.7	12.1	19.3	7.2
	11.1	▲ 7.7	9.1	16.8
建設業	25.0	5.7	23.3	17.6
	28.5	▲ 4.2	20.0	24.2
卸売業	34.7	33.3	20.0	▲ 13.3
	40.0	28.6	0.0	▲ 28.6
小売業	24.0	18.2	23.8	5.6
※飲食業含む	0.0	▲ 12.5	20.0	32.5
サービス業	7.7	0.0	10.8	10.8
	11.1	0.0	0.0	0.0

DI＝好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

▲はマイナス表示

※下段の値は小規模企業

8 借入予定、借入希望先、借入資金の使途予定（図－9参照）

全産業中、来期に借入を予定している企業は、281 企業中 55 企業で全体の 19.6%と前期実績値 50 企業・14.9%と比べ、増加となった。

借入希望先では、全産業の民間金融機関希望は 74.5%と前期 82.0%と比べ減少、公的金融機関では 18.2%と前期 16.0%と比べ、増加となった。

借入資金の使途予定では、運転資金 60.0%（前期 68.0%）、設備資金 36.4%（前期 30.0%）となっている。

図-9-① 借入予定

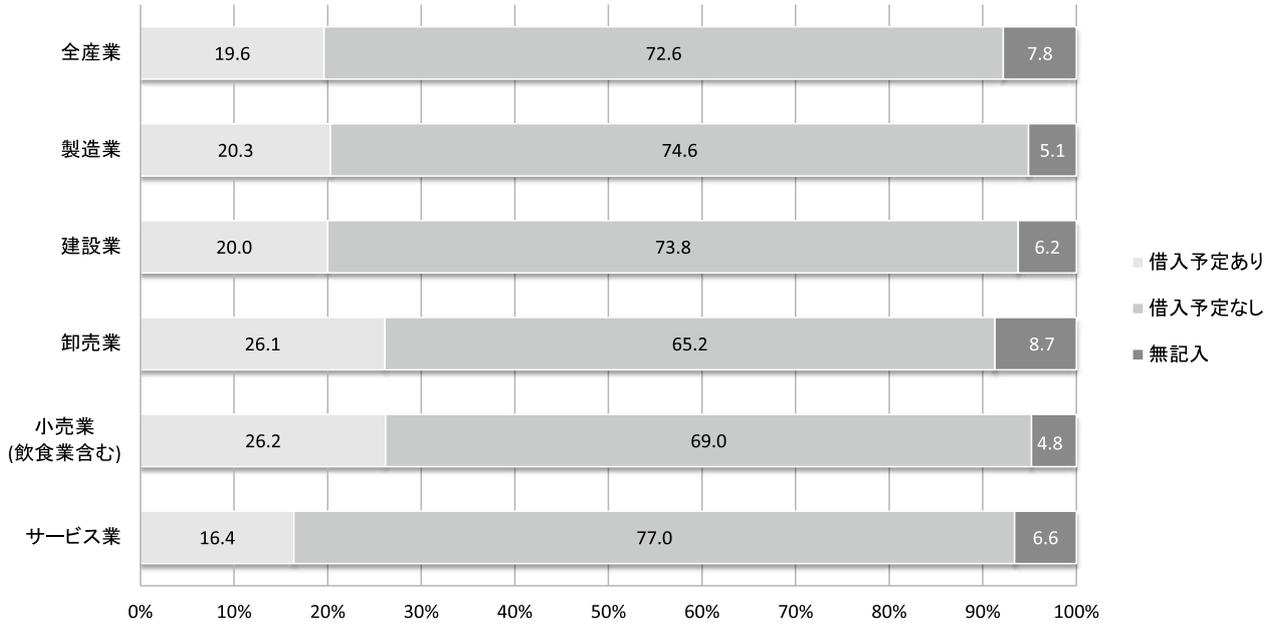


図-9-② 借入希望先

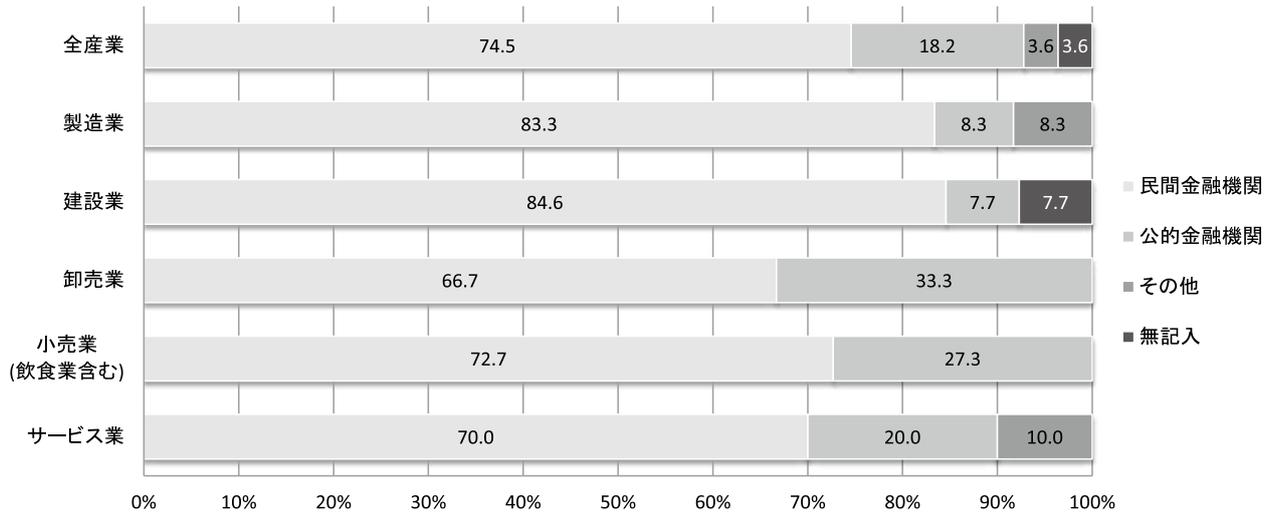
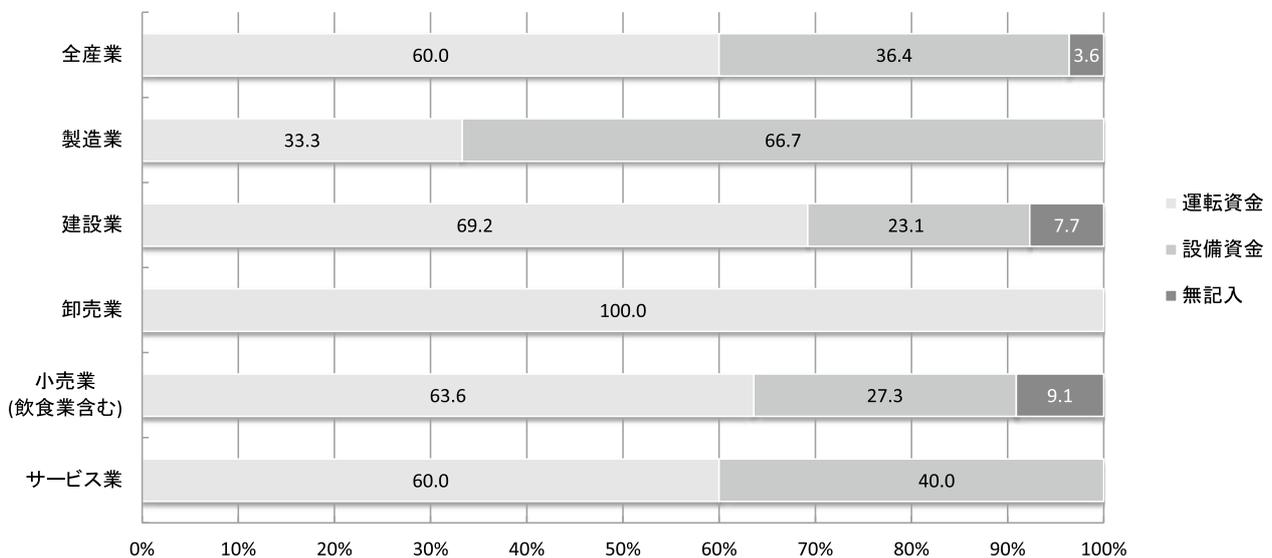


図-9-③ 借入資金の用途予定



9 経営上の問題点（3項目まで選択）（図-10、表-9参照）

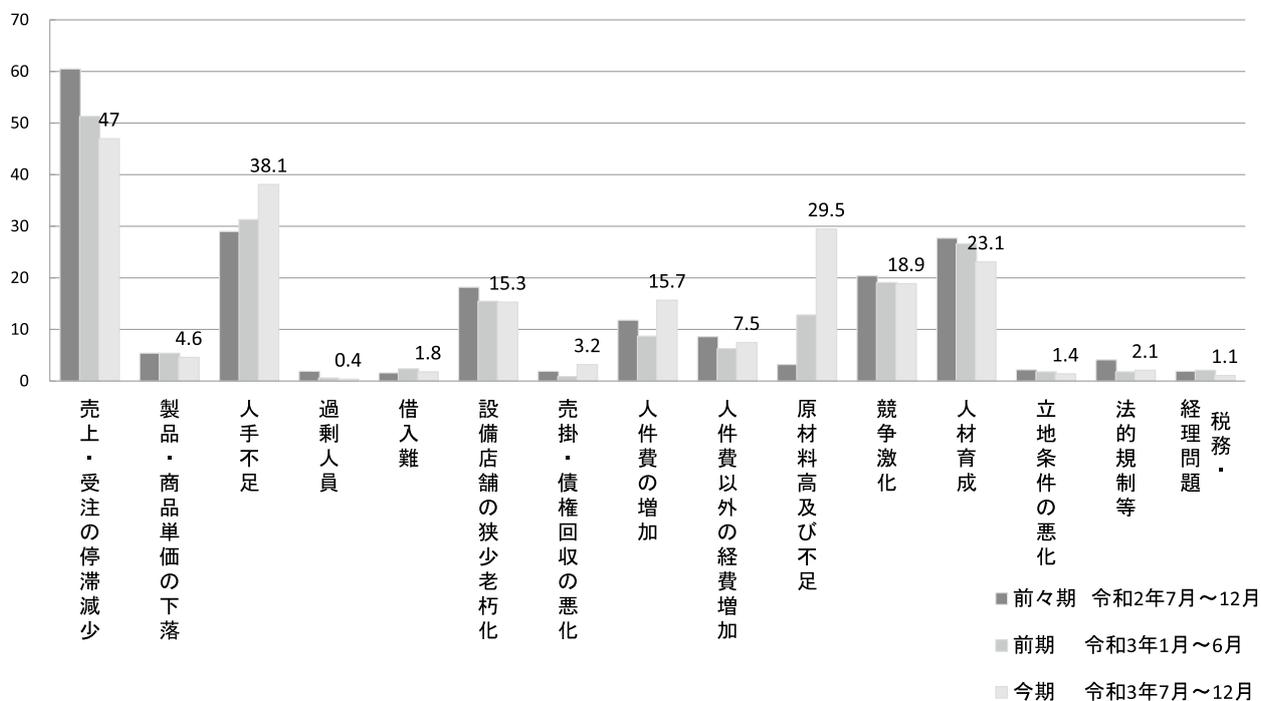
全産業の経営上の問題点は、1位が「売上・受注の停滞・減少」47.0%（前期 51.3%）、2位が「人手不足」38.1%（前期 31.3%）、3位が「原材料高及び不足」29.5%（前期 12.8%）となった。「売上・受注の停滞・減少」は4期連続で1位となったが、前期と比較して「人手不足」、「原材料高及び不足」の割合が高くなっており、特に「原材料高及び不足」については16.7%増加した。

業種別においては、前期から引続き、卸売業、小売業、サービス業で「売上・受注の停滞・減少」が1位となる中で、製造業では「原材料高及び不足」、建設業では「人手不足」がそれぞれ1位となり、順位に変化がみられた。

また、「原材料高及び不足」については、建設業、卸売業でも上位となっている。

図-10 経営上の問題点（全産業）

（単位：％）



表－9 経営上の問題点

(単位：%)

業種	順位	前期 令和3年1月～6月期			今期 令和3年7月～12月期		
		1位	2位	3位	1位	2位	3位
業種別	全産業	売上・受注の停滞減少 51.3	人手不足 31.3	人材育成 26.6	売上・受注の停滞減少 47.0	人手不足 38.1	原材料高及び不足 (前回6位 12.8) 29.5
	製造業	売上・受注の停滞減少 56.5	人手不足 人材育成 29.0	原材料高及び不足 22.6	原材料高及び不足 (前回3位 22.6) 52.5	売上・受注の停滞減少 44.1	人手不足 32.2
	建設業	売上・受注の停滞減少 47.6	人手不足 44.0	人材育成 27.4	人手不足 58.5	原材料高及び不足 (前回5位 19.0) 40.0	売上・受注の停滞減少 36.9
	卸売業	売上・受注の停滞減少 45.9	競争激化 29.7	人手不足 人材育成 16.2	売上・受注の停滞減少 60.9	競争激化 39.1	原材料高及び不足 (前回4位 13.5) 34.8
	小売業 ※飲食業含む	売上・受注の停滞減少 58.3	設備店舗の狭小老朽化 人材育成 27.1	人手不足 25.0	売上・受注の停滞減少 59.5	人手不足 26.2	設備店舗の狭小老朽化 23.8
	サービス業	売上・受注の停滞減少 52.1	人手不足 人材育成 30.1	競争激化 19.2	売上・受注の停滞減少 45.9	人手不足 37.7	競争激化 人材育成 21.3

景況調査票

令和4年1月

※各設問に対して該当するものに○印を付けてください。

企業の概要

1 業種 (主たるもの1つ)

〈製造業〉	1.食料品	2.繊維品	3.機械製品	4.金属製品	5.木材木製品
	6.化学製品	7.土石窯業	8.印刷・出版	9.その他	
〈建設業〉	10.土木工事	11.建築工事	12.その他		
〈卸売業〉	13.食料品	14.繊維・身の回り品	15.その他		
〈小売業〉	16.繊維・身の回り品	17.食料品	18.家具・日用品	19.電気製品	20.その他
〈飲食業〉	21.飲食店				
〈サービス業〉	22.美容・理容	23.ホテル・旅館	24.自動車整備	25.不動産	26.その他
〈交通運輸業〉	27.交通運輸	〈その他〉	28.その他		

2 常時使用従業員数(会社の役員・家族従業員・パートを除く。)

1.0～5人	2.6～20人	3.21～50人	4.51～100人	5.101人以上
--------	---------	----------	-----------	----------

企業の経営状況について

3 現状について…令和3年7～12月の業況は前年同期に比べてどうでしたか。

1.良い	2.やや良い	3.変わらない	4.やや悪い	5.悪い
------	--------	---------	--------	------

理由:

4 今後の見通しについて…令和4年1～6月の業況は前年同期に比べてどうなと思いますか。

1.良い	2.やや良い	3.変わらない	4.やや悪い	5.悪い	6.わからない
------	--------	---------	--------	------	---------

理由:

5 売上状況について…令和3年7～12月の売上は前年同期に比べてどうでしたか。

1.増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.減少
------	--------	---------	--------	------

6 売上の見通しについて…令和4年1～6月の売上は前年同期に比べてどうなと思いますか。

1.増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.減少	6.わからない
------	--------	---------	--------	------	---------

7 利益状況について…令和3年7～12月の利益は前年同期に比べてどうでしたか。

1.増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.減少
------	--------	---------	--------	------

8 販売条件(単価・決済方法)について…令和3年7～12月は前年同期に比べてどうでしたか。

1.好転	2.やや好転	3.変わらない	4.やや悪化	5.悪化
------	--------	---------	--------	------

9 仕入条件(単価・決済方法)について…令和3年7～12月は前年同期に比べてどうでしたか。

1.好転	2.やや好転	3.変わらない	4.やや悪化	5.悪化	6.仕入なし
------	--------	---------	--------	------	--------

10 設備投資について

令和3年7～12月の実績	令和4年1～6月の予定
1.行った	1.予定あり
2.行わない	2.予定なし

11 資金繰りの現状について…令和3年7～12月は前年同期に比べてどうでしたか。

1.好転	2.やや好転	3.変わらない	4.やや悪化	5.悪化
------	--------	---------	--------	------

12 資金繰りの見通しについて…令和4年1～6月は前年同期に比べてどうなと思いますか。

1.好転	2.やや好転	3.変わらない	4.やや悪化	5.悪化	6.わからない
------	--------	---------	--------	------	---------

13 借入の現状について…令和3年7～12月はどうでしたか。(借入された方のみ)

1.容易	2.普通	3.困難
------	------	------

14 借入予定はありますか…(令和4年1～6月)

1.予定している	2.予定していない
----------	-----------

14-1.借入先は、どこを希望されますか。(主たるもの一つ)

1.民間金融機関	2.公的金融機関	3.その他
----------	----------	-------

14-2.資金使途は何を予定されていますか。(主たるもの一つ)

1.運転資金	2.設備資金
--------	--------

15 現在経営上で、困っている問題点は何か。あれば3つ以内で選んでください。

1.売上・受注の停滞減少	6.設備・店舗の狭小老朽化	11.競争激化
2.製品・商品単価の下落	7.売掛・債権回収の悪化	12.人材育成
3.人手不足	8.人件費の増加	13.立地条件の悪化
4.過剰人員	9.人件費以外の経費の増加	14.法的規制等(緩和を含む)
5.借入難	10.原材料高及び不足	15.税務・経理問題

16 その他困っている問題・御意見等があれば御記入ください。

特にコロナウイルス感染症の影響、国・県などの経済支援策の活用状況や、今後行政へ希望する対策などを含めて御記入ください。

御協力ありがとうございます。

津地区の景況調査 No. 79

令和4年3月発行

■ 編集 津商工会議所中小企業相談所

■ 発行 津商工会議所

(本所)

〒514-0033 津市丸之内2-9-14

TEL 059-228-9141 FAX 059-228-7317

(久居支所)

〒514-1135 津市久居本町1-3-47-1

TEL 059-255-2343 FAX 059-256-3665



GREEN PRINTING JFPI

P-B10216

この印刷製品は、環境に配慮した
資材と工場で製造されています。